



●稲敷市・姉妹都市交流委員会広報紙●

姉妹都市

— 世界は君を待っている —

Sister Cities



サーモンアーム

No. **16**
2011. 3



稲敷市親善大使海外派遣事業に参加して
サーモンアーム使節団受入事業に参加して
姉妹都市交流20周年の歩み

祝 20th Anniversary



自信につながる 貴重な体験

団長 吉田 多嘉子

交換交流20周年の記念すべき年に、団長として参加できたことを光榮に思います。

サーモンアームに滞在すること7日間、沢山の歓迎を受け、美しい自然の中でカナダの文化や生活・習慣に触れることができました。

よく食べ、遊び、笑い、ホストとの交流も深めることができました。この貴重な体験は、団員一人一人の心に深く刻まれたにちがいありません。

交流20周年、この事業に携わってくださった多くの方々に心から感謝を申し上げます。

第5回 稲敷市親善大使海外派遣団名簿

団長 吉田 多嘉子(姉妹都市交流委員長)
親善随員 矢崎 克実(姉妹都市交流委員会)
指導員 野波 典子(新利根中教諭) 山崎 孝夫(桜川中教諭)
団員

高木 優希(中2)	若林 里奈(中2)	笹本 萌(高1)
丘野 優佳(中2)	金盛 大樹(高1)	山口 魁(中2)
中澤 香奈(中2)	大徳 礼夏(中3)	高野 真優(高1)
足立 真紀(中3)	福田 萌子(中2)	小嶋 直樹(中1)
朝日向優花(中1)	池田 浩輝(中2)	池田 芽以(中2)
鴻巣 愛梨(中2)	石津 琴美(中2)	坪井 彩夏(中2)
増田 紫乃(中3)	酒井紗由美(中3)	青木 勇樹(中2)



さよなら
パーティ！



Yahh!

金盛 大樹

僕は世界の文化や言葉に興味があり、海外へ行くのは夢でした。不安と希望ではじまったホームステイでしたが、ホストファミリーはとても友好的で日本文化を理解してくれていました。終わる日には涙のお別れとなり、派遣事業を通して「友達の大切さ」をあらためて感じました。今後も付き合いを続けて、またカナダに行きたいと思いました。

派遣時の主なスケジュール

- ・歓迎式
- ・「友情の門」見学
- ・植樹式(花水木)
- ・ミニゴルフ
- ・スクール訪問
- ・ハウスポート
- ・さよならパーティ
- ・パンフ観光
- ・コロンビア大氷原観光

酒井 紗由美

私はホームステイで沢山のことを体験して学ぶ事が出来ました。私の語学力では通じないこともありましたが、言葉は通じなくても、伝えようとする気持ち、そして感謝の心を忘れずにいれば言葉も人種も関係なく、友達になれると分かりました。カナダの友達ともっと会話がしたいので、英語の勉強を頑張っています。海外派遣は私をとても豊かにしてくれました。

池田 浩輔

受け入れをしたのは今回で2回目ですが、なかなか慣れず、最初はあまり会話ができませんでした。数日の試行錯誤の結果、込み入った話はないものの普通に意思疎通ができるようになりました。この受け入れ事業で英語は学校で習うよりも、実際に外国人と話した方が習得できると実感しました。英語で話ができる良い機会なので、皆さんも参加してみてください。

受入時の主なスケジュール

- ・対面式
- ・中学校交流会(東中学校)
- ・つくば研修
- ・東京一泊研修
(東京ディズニーシー
葛西臨海公園、浅草散策)
- ・さよならパーティ

高木 優希

受け入れる前日、私は、英語が全然できないのに大丈夫かなあ？と不安でいっぱいでした。でも、メラニーと会って不安がなくなりました。受け入れている間は、部屋で歌を熱唱したり、笠間焼きに行った時は、お互いの名前を作った皿に書いたり、心に残る思い出をたくさん作りました。彼女と過ごしてカナダが身近に感じられました。皆さんも受け入れをしてみてください。

ひびけ若人の声 ふれあう笑顔

対面式



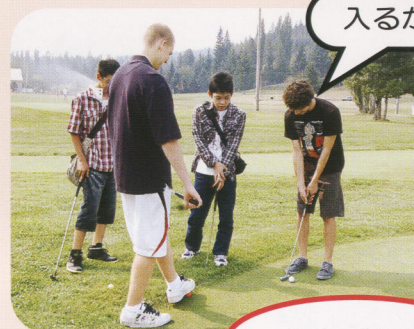
はじめまして

一派遣事業に参加してー



バーベキュー

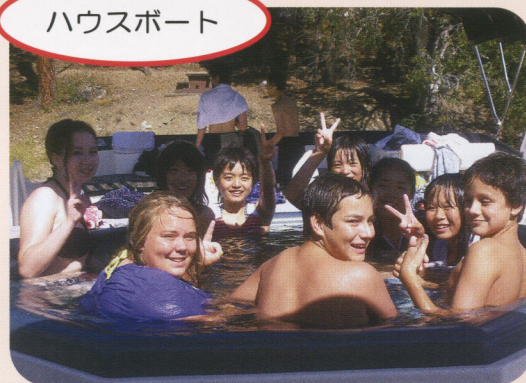
派遣(H22.8.17~8.27)



入るかナー

ミニゴルフ

ハウスポート



コロンビア大氷原

ー受入れ事業に参加してー

受入れ(H22.3.24~3.31)

第5回 受入れホストファミリー名簿

飯塚 悠貴(中3)	黒田 和城(大1)	池田 浩輔(高2)
水飼 一貴(中2)	小川 晃平(中2)	松田 麗(高2)
平渡あゆみ(高2)	手塚 葉(高1)	黒田 奈樹(高1)
中島 千陽(大1)	浅野 友理(中2)	小島 結子(高3)
廣瀬美紗紀(大1)	酒井紗由美(中2)	鴻巣 愛梨(中1)
高木 優希(中1)		※学年は受入れ時
吉田 薫(一般)	小川喜三雄(一般)	藤郷 武志(一般)

中学校交流会
習字体験



浅草ビューホテルにて



ディズニーシーにて



さよならパーティ



Salmon Arm 姉妹都市交流 20 周年の歩み Inashiki

サーモンアーム市との交流の始まり

当時、旧東村では青少年の国際化を目指し、親善交流を図ることのできる海外の都市を探していました。

青少年のためには世界の共通言語として通用する「英語」圏にあり、治安の良い国・地域という条件で、カナダやオーストラリア等の国が候補となりました。

たまたま、村内の高校生が語学研修等を通じてカナダ・サーモンアーム市出身の青年(交流当初からの協力者)と知り合いであり、村民の家族交流の輪の中からサーモンアーム市の存在を知りました。そのサーモンアーム市は湖のほとりに位置し水と緑に恵まれており、交流に際しての交通環境も整っていました。1989年12月に東村長からサーモンアーム市長へ姉妹都市提携の申し出をし、1990年4月に東村役場にて調印がなされました。

2005年3月の合併(江戸崎町、新利根町、桜川村、東町が合併し稲敷市となった)により姉妹都市交流は稲敷市に継承され、2006年3月に稲敷とサーモンアーム両市の間で姉妹都市提携の再調印がなされました。

1990. 4. 1 スミス市長夫妻が来村し、東村役場において調印書締結

1995. 2.19 東町姉妹都市交流委員会設立

1998. 7.25 「友情の門」竣工式 交流10周年記念事業 (※表紙写真)
東町より5名の技術者を派遣。日本式四脚門を建築し、友好の象徴としてサーモンアーム市へ贈呈

2002. 3.30 「友情の家」竣工式
サーモンアーム市から「友情の門」の返礼として、カナディアンログハウスが建築される。

2006. 3.27 稲敷市とサーモンアーム市の姉妹都市提携調印式

2006. 4. 1 「友情の手形」設置
両市の新たな交流の始まりを記念し、多大な尽力をいただいた方々の手形が設置される(ウェイン・スペンサー/ダグ・ピアソン)

2010. 8.17 第5回稲敷市親善大使海外派遣 交流20周年記念事業
姉妹都市交流委員会からの記念品として友情の門脇に花水木を植樹
稲敷市からサーモンアーム市へ絵画とタペストリーが贈呈



友情の家上棟



INFORMATION

○サーモンアーム市親善使節団来日

3月24日から3月31日までの間、カナダ・サーモンアーム市より親善使節団が稲敷市を訪れ、ホームステイにより市民の皆さんと交流を深める予定です。見かけたら気軽に声をかけてください。

○「友情の家」貸出し

サーモンアーム市から贈られた「友情の家」(あずま生涯学習センター隣)では、バーベキュー等が楽しめます。利用希望者は、あずま生涯学習センター：0299-79-0053へお申し込み下さい。

○会員募集！あなたも国際交流しませんか？

稲敷市では国際交流に関わる各団体の会員を募集しています。

・姉妹都市交流委員会

姉妹都市派遣事業、ホームステイ受入事業など稲敷市の実施する幅広い姉妹都市(サーモンアーム市)との活動に協力し、民間交流活動を展開しています。

・日本語サークルかぼちゃ

毎週水曜日、昼と夜の2回、市内及び近隣に住む外国人を対象に、日常会話を中心とした日本語を教えています。

※問い合わせ・申込みは企画課(029-892-2649)まで

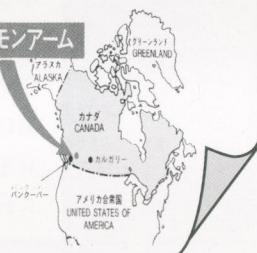
○稲敷市ホームページをご覧ください

この姉妹都市交流事業(海外派遣・受入れ)の詳細は稲敷市HP

<http://www.city.inashiki.lg.jp/>

(市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業)内に掲載されております。
青少年親善大使派遣、使節団受入れの募集についても、公募しております。

サーモンアーム



交流委員会広報委員

○委員長 山本 彰治
石井 道朗 小川 成子 高城 厚子 戸澤 公子

編集後記

なんでもそうですが、動き始めが大変です。起きる時も、発進も、交流も。そうして20年経ちました。あらためて、この交流が動き始めたときの皆さんの苦勞に感謝しつつ、私たちのこの活動が青少年にとって貴重なものになりますように。

(山本)

編集：稲敷市企画課国際交流担当
姉妹都市交流委員会広報委員